的に不可欠なものであり、町と住民の共有財産でもあることから平成12年に文書整理保存規定を全面見直し文書の作成から廃棄までの統一化を図り適切な管理を行っている。

［総務部長］

○住民へのお知らせ等の周知について

Q.行政区への加入していない世帯が多く見られるが、当町の取り組み考えを伺いたい。

A.行政区への未加入世帯が約二割あり、色々な面で協力が得られない等の問題が生じている。今後、協働のまちづくりを推進するうえで、行政区の果たす役割や必要性を説明し行政区長の協力を得ながら加入の推進をしていきたい。

［総務部長］

○学校給食について

Q.食物アレルギーによる事故を防ぐための当町としての取り組みを伺いたい。

A.現在、小中学生では3名の食物アレルギーを持つ児童生徒を把握しており、食材の記入がある指示書、加工食・調味料の配合表を保護者に配布し、内容を確認のうえ給食を提供している。

［教育次長］

Q.給食センターが竣工してから約40年になるが、将来的な町の考えを伺いたい。

A.民営化へのさまざまな課題を考えると、将来的には給食センターの建て替えを検討していく。

［町長］

議席13番　中村　治雄　議員

○教育関係について

Q.境町は休日や放課後の子どもたちの遊び場が少ないと思うがその対策は考えているか。

A.学校の遊具は、休日の使用を事故防止の管理が出来ないため禁止しており、学校以外の公園の遊具などで保護者の付き添えの上遊ぶように指導している。

［教育長］

Q.学校教育の改革として小中一貫校の考えは。

A.今後、有識者の意見を聞き、先進地を視察し検討したい。

［教育長］

Q.小中一貫校のメリット・デメリットは。

A.メリットについては、小学4・5・6年生の教科担任制がとれ、専門的な教育ができ、小中学校の交流事業等ができる。デメリットについては、諸行事で中学生中心の活動が考えられ、小学5・6年生のリーダーシップを図りにくく、リーダー養成が課題となる。児童・生徒数が多くなり、きめ細かい指導等ができなくなる。

［教育長］

○下水道事業について

Q.猿島地区・森戸地区（伏木地区）の公共下水道事業の進捗状況は。

A.現在の認可区域の進捗状況を勘案し、効率的な整備区域の拡大を図っていきたい。

［参事兼上下水道課長］

Q.森戸地区（百戸・若林）の農業集落排水事業の進捗状況は。

A.整備手法の検討結果を考慮しながら慎重に進めていきたい。

［参事兼上下水道課長］

○防災について

Q.町民の防災訓練及び防災教育の重要性を町はどう考えているのか。

A.防災訓練及び防災教育を積極的に取り入れていく。

［総務部長］

議席9番　内海　和子　議員

○条例策定について

Q.住民のだれもが納得する町づくりを行うには町の基本となる各種の条例づくりが欠かせない。町はどのような計画をしているか。条例とは自治基本条例、男女共同参画推進条例障がい者権利条例などである。

A.自治基本条例の重要性は認識しているので、自治についての共通認識のもとに、段階を踏んで検討する。男女共同参画推進条例については、総合計画に位置づけされており、制定に向けて検討する。障がい者権利条例については国・県や各自治体の動向を見ながら検討する。

［副町長］

○教育について

Q.いじめ発見心理テストを見るとおおむね良好ながら、小6、中1などで要支援者も複数いる。対策を考えているか。

A.31名いるが、専門カウンセラーや適応指導教室指導員など派遣して担任の指導に当たっている。

［教育長］

○防災について

Q.防災計画やハザードマップの見直しはどうなっているか。

A.防災計画は原発事故も含め今年度中に見直しをする。

［生活安全課長］

A.水害時のハザードマップは今年度中に作成し、完成次第、各戸配布する。避難場所の確保については、民間の3階建て以上の家屋所有者に戸別訪問して協力を依頼し、マップに記す予定。他市町との連携は、すでに近隣11市町と災害時相互応援協定締結をした。

［総務部長］

議席4番　倉持　功　議員

○圏央道インターチェンジ周辺開発について

Q.茨城県が中心になり常総市、坂東市、五霞町、境町とで行われた周辺開発の協議会での成果はどうだったのか。

A.町内には工業専用地域等の、誘致できる用地がないので新たな産業用地の創出が喫緊の課題である。四市町及び県の関係部局と一体となった検討会で周辺開発の実現に向けた調査検討が行われてきた。

［参事兼まちおこし推進室長］

Q.パーキングエリア誘致も引き続き行い、境町第5次総合計画のふれあいの里を中心とした農業と連携した観光交流拠点の開発も行うべきと思うが町長はどう考えるか。

A.以前から宿泊施設がある貸農園等の大規模な施設を開発できればと思っていたので、構想のひとつとして検討していきたい。

［町長］

○通学路の安全対策について

Q.国の補正予算で交通安全施設整備費がついたが、各小中学校から上がった危険個所は整備するのか。

A.危険個所の県所管分5か所は県の境工事事務所に依頼し、町所管分は5カ年計画で整備を予定している。

［教育次長］

Q.野田市ではガードレールや縁石が設置できないところにプラスチックのポールを沢山ならべて通学路の歩道を確保しているところがあるが当町でも実施しては。

A.道路の幅員等の制限もあるため詳細に調査し、取り組む方向で検討したい。

［教育次長］

平成25年第1回臨時会

平成25年1月25日開会

○工事変更請負契約の締結について

［即日原案可決］

平成24年度境第二中学校屋内運動場改築工事において、既存杭等の撤去費として332万8千5百円を増額する契約を締結するもの。

平成25年第2回臨時会

平成25年4月19日開会

○寄付行為による平成24年度境町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて

［即日原案承認］

○境町税条例の一部を改正する専決処分の承認を求めることについて

［即日原案承認］

○境町国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分の承認を求めることについて

［即日原案承認］

◎広報編集委員会

委員長　濵野　健司
副委員長　飯田　進
委　員　内海　和子
委　員　田山　文雄
委　員　渡邊　昇